

東京2025デフリンピック開閉会式検討部会設置要綱（概要）

資料 1

第1条 目的

- 開催基本計画、大会ビジョン等に基づき、ろう者が主体となって、誰しものが楽しむことができる式典内容とするため、専門委員による意見を取り込みながら演出等の企画を行う

第2条 所掌事項

- 本部会の所掌事項は以下のとおり
- (1)開閉会式の以下の事項に関すること
 - ア 運営に関する事項
 - イ 演出に関する事項
 - ウ プロトコールに関する事項
 - エ 会場に関する事項
- (2)その他開閉会式全般に関すること

第3条 組織

- 本部会は、以下の委員をもって組織する
- (1)一般社団法人全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会委員長
- (2)東京都生活文化スポーツ局事業調整担当部長
- (3)公益財団法人東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部プロトコール部シニアマネージャー
- 2 本部会に、専門的な事項を企画するため必要があるときは、専門委員を置くことができる。
- ※部会長は委員の互選によって決定する。

第6条 演出委員会

- 本部会は、第2条第1号イについて検討を行う必要があると認める場合は、本部会に演出委員会を置くことができる。
- 演出委員会の名称及び所掌事項は、部会長が本部会に諮って定める。
- 演出委員会に属すべきメンバーは部会長が推薦の上、本部会に諮って選任する。
- 演出委員会にリーダーを置き、当該演出委員会に属するメンバーのうちから部会長が指名し、本部会に諮って定める
- 演出委員会のリーダーは、当該作業部会の事務を掌理する。
- 演出委員会のリーダーは、演出委員会の会議の議長となり、議事を整理する。
- 演出委員会のリーダーは、演出委員会における調査審議の経過及び結果を部会に報告するものとする。

第9条 公開

- 本部会及び演出委員会は原則公開とする。ただし、大会に係る契約に関する情報及び関係者等の秘密情報を取り扱うとき、又は部会長が公開を不適當と認めるときは非公開とする。

東京2025デフリンピック開閉会式における専門委員の選定について（案）

資料 2

○ これまで3者において検討した結果、「3本の柱・演出のポイント」を整理

3本の柱

大会ビジョン・開催基本計画

デフスポーツの魅力や価値を伝え人々や社会をつなぐ
世界に、そして未来につながる大会へ

“誰もが個性を活かし力を発揮できる”**共生社会**の実現

ろう文化を発信

- 日本のろう者文化及びデフスポーツの理解を促進する
- デフリンピックの魅力や価値を発信する

東京らしさを発信

- 東京の持つ魅力を発信する
- 芸術文化など東京の持つ魅力を感じてもらい
世界との絆を深めていく

共生社会を推進

- 年齢・国籍・障害のあるなしなどにかかわらず、
すべての人とのコミュニケーションを促進する
- 互いの違いを認め、尊重しあい、誰もが個性を
活かし、力を発揮できる共生社会を実現していく

演出のポイント

【演目】

ダンスや伝統舞踊
などろう者も聴者
も誰もが内容が理
解しやすいもの

【出演者】

ろう者、子ども、
現地ゆかりの人々
など**多様な主体の
参画**

【表現方法】

誰もが楽しめるよ
う**視覚と聴覚**に届
くもの。振動など
触覚表現も活用

【一体感】

ライトや観客のダ
ンス参加・交流な
ど**双方向のコミュ
ニケーション**

【情報保障】

手話（日本・国際）、字幕（日
英）への対応

東京2025デフリンピック開閉会式における専門委員の選定について（案）

資料 2

専門委員候補者氏名（敬称略）	選定理由
大杉 豊 （おおすぎ ゆたか） 国立大学法人 筑波技術大学 教授	舞台演劇活動の経験があり、様々なろう者芸術に関わっている。このため、演劇に造詣が深く、作品の演出経験があるほか、諸外国のろう文化についても研究しており豊富な知見を持っている。

【専門委員候補者紹介】



- 18歳の手話言語との出会いを「言語文化的に生まれ変わった」と表現
- 劇団員、専門学校教員、米国の大学教員、きこえない当事者団体事務局職員などの職を経て、2006年より筑波技術大学に勤務
- きこえない学生に手話言語学やろう者学を指導する傍ら、手話言語の歴史的な変化や地域的な差異をテーマにフィールドワークを続ける
- 手話言語とろう者文化の社会的認知を求め、グローバルな活動を展開

（略歴）

- 社会福祉法人全国手話研修センター 手話言語研究所長
- 国際ろう者スポーツ委員会 副委員長
- 社会福祉法人全国手話研修センター 若年層の手話通訳養成者モデル事業委員
- 一般社団法人全日本ろうあ連盟 手話言語法制定推進運動本部委員
- 公益社団法人現代人形劇センター 理事
- 中野区聴覚障害者福祉協会 監事

東京2025デフリンピック開閉会式における専門委員の選定について（案）

資料 2

専門委員候補者氏名（敬称略）	選定理由
高萩 宏 （たかはぎ ひろし） 世田谷パブリックシアター館長	日本の演劇制作者、アーツ・マネジメント研究者で、芸術分野のみならず、スポーツ分野での事業実績を有する人物 また、現世田谷パブリックシアターでは、ろう者に対する劇場におけるアクセシビリティ対応についても推進

【専門委員候補者紹介】



- 1953年、東京都生まれ。東京大学文学部卒業。コロンビア大学大学院アーツ・アドミニストレーション学科中退。劇団夢の遊眠社創立メンバー
- 1989年の退団後は、英国でのジャパン・フェスティバル1991はじめ、東京演劇フェア、東京国際芸術祭などの運営に携わる。
- パナソニック・グローブ座支配人、世田谷パブリックシアター制作部長、東京芸術劇場副館長を経て、2021年に世田谷パブリックシアター館長に就任。

（略歴）

- 元東京都芸術文化評議会評議員
- 元東京芸術劇場副館長
- 多摩美術大学美術学部芸術学科客員教授
- 日本大学芸術学部芸術学科非常勤講師
- 公益社団法人全国公立文化施設協会常務理事

専門委員からのコメントについて

資料 3

大杉 豊 氏からいただいたコメント

- きこえない当事者、あるいは専門家の意見を織り込みながら、**企画から製作までの作業を、きこえる人ときこえない人が共に手を組んで進めていくことが重要**
- 誰しものが楽しめるような開閉会式にするためには、**演目は広い視野で検討を進めていき、選択肢の幅を広めたい。**その中には、きこえない、きこえにくい人達が楽しめる映像アートなども取り込んだ、**メディアアート**も含まれる可能性がある。
- 今回の会場が東京体育館ということもあるので、企画するうえでは、演出する人達の認識合わせが必要

高萩 宏 氏からいただいたコメント

- 文化プログラムの**公演には、通常、企画から製作までに3年から4年必要**
- 今回の式典の要となるアーティスティックプログラムは、本番1年前に控えており、すでに時間が足りない状況
- **早期に、アーティスティックプログラムの演目や出演者、演出方法等の詳細内容を、経験のあるメンバーの意見のもとで、決めていく必要がある。**
- 加えて、短期間により良い作品を作っていくためには、**企画から製作までの作業を一貫して担っていただける演出家を先に選任し、効率的に準備を進めていくべき**

(いただいたコメントに対する事務局対応案)

- 本部会の下部組織として、演出委員会を設置し、きこえない、きこえにくい側と、きこえる側の両者から、文化プログラムの製作経験のあるメンバーを招聘し、アーティスティックプログラムの出演者や演出方法等の詳細な内容を検討
- あわせて、企画、製作、公演までを一貫して演出していただく演出家を選定
- 選定した演出家には、式典の準備運営委託を担う事業者決定後も、演出等に従事

演出委員会の設置について（案）

資料 4

開閉会式検討部会

<内容>

開閉会式方向性の検討（演出委員会の設置、総合演出家の選定、事業者選定委員会の評価基準等の確認）

<備考>

従来のAP検討チームを格上げして、開閉会式検討部会を設置

- ・文化・スポーツ・共生社会における実績や学識経験を有する人物を委員として取り入れる
- ・学識経験者は、事業者選定委員会の審査員も兼ねる

演出委員会

<内容>

演出規模（出演人数、使用機材）に関する検討、演出内容の検討

<備考>

開閉会式検討部会の下に、演出委員会を設置

- ・過去の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会等における演出経験者及びろうあ連盟からの推薦者からメンバー及びリーダーを本部会の中で諮って定める
- ・リーダーは、総合演出家となることを想定
- ・全日本ろうあ連盟・東京都・事業団それぞれから1名ずつ委員を選任

東京2025デフリンピック開閉会式検討部会 演出委員会について

概要

- 東京2025デフリンピックの開閉会式の準備運営を通じて、きこえない人やきこえにくい人が主体となって「誰もが楽しめるアーティスティックプログラム」を考え作り上げていく。
- 外部の専門委員を招聘した**東京2025デフリンピック開閉会式検討部会**を設置し、開閉会式の方向性について検討
- 演出経験者を取り込んだ**演出委員会**を設置し、具体的な演出規模について検討

東京2025開閉会式検討部会

【全日本ろうあ連盟】久松 三二
【東京都】清水 俊二郎
【東京都スポーツ文化事業団】小澤 洋之

専門委員
大杉 豊氏
高萩 宏氏

全体の方向性を提示

演出方針等を報告

きこえない人、聞こえにくい人の視点に立つ演出家と
きこえる人の視点に立つ演出家が連携した**演出委員会**

近藤 良平氏
大橋 弘枝氏

倉野 直紀（ろうあ連盟）
濱野 正子（東京都）
鈴木 倫之（事業団）

【内容】演出規模に関する検討、演出内容の検討

R6
年度

R7
年度

開閉会式準備運営業務受託者

委託者が指定する演出家チームとして
受託者側に参画

演出委員会メンバーの選任について（案）

専門委員候補者氏名（敬称略）	選定理由
大橋 弘枝 （おおはし ひろえ） 音のない世界の住人 俳優・演出家・プロデューサー	・ きこえない人の言語と文化を尊重しつつ、きこえる人にいかに伝えるかを念頭に芸術活動に取り組んでいる ・ 様々なジャンルにおける作品の制作に携わり、周囲とコミュニケーションをとりながら他者と協働して創作できる人物

【演出委員会メンバー候補者紹介】



- 佐賀県生まれ。1999年、俳優座劇場プロデュー
- 「小さき神の作りし子ら」で日本初となるろうの主役・サラを演じて第七回読売演劇大賞優秀女優賞を受賞。
- その後、渡米して演劇やダンスの勉強をする。帰国後、公演プロデュース兼劇団「サイン アート プロジェクト.アジア」を創立。
- 聞こえない人と聞こえる人と共に、ミュージカルから始まり、ストレートプレイ、朗読など幅広く手話を通して演劇活動を行った（2020年閉幕）。
- 日本だけではなく、イギリスやバングラデシュにおいて舞台作りに関わる。
- 著書に「もう声なんかいらなかった」（出窓社）、漫画原作「もう声なんかいらなかった」（画・おおにし真／講談社）。

（実績）※抜粋

2023年リアル対話ゲームⅡ「囚われのキミは、」
 2019年「生きづらさを抱える人たちの物語」
 2018年「名もなく貧しくもなく美しくもなく
 ～最強じゃない2人～」
 2017年「残夏-1945-」「夏の夜の夢」
 2014年「名もなく貧しくもなく美しくもなく
 ～最強じゃない2人～」「里亞王（リア）」
 2013年「目で聴いた、あの夏」
 2012年「大ハード」「女子高生チョ」
 2011年「Call Me Hero!～もう声なんかいらなかった～」
 「したごころ」「R&J（ロミオとジュリエット）」
 2009年「とりあえずBar」「The Vagina Monologues」
 「Call Me Hero!」
 2006年～2015年サイン アート プロジェクト.アジア
 2006年「Call Me Hero!」
 2004年「ウエストサイドストーリー」
 2001年「小さき神の作りし子ら」
 1999年「小さき神の作りし子ら」

演出委員会メンバーの選任について（案）

専門委員候補者氏名（敬称略）	選定理由
近藤 良平 （こんどう りょうへい） ・ 彩の国さいたま芸術劇場芸術監督 ・ ダンスカンパニー「コンドルズ」主宰	・ 過去の国体、障害者スポーツ大会等における演出経験のある人物 ・ 障害の有無関係なく多様な主体を巻き込み、周囲とコミュニケーションをとりながら他者と協働して創作できる人物

【演出委員会メンバー候補者紹介】



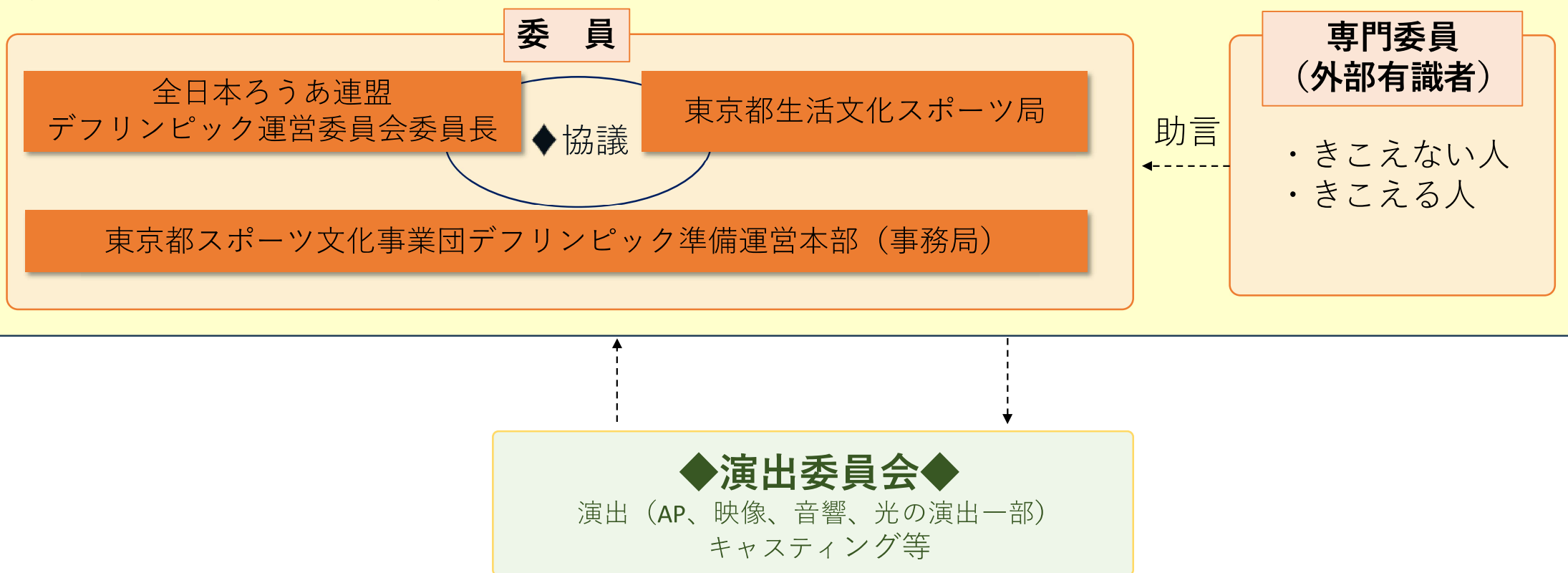
©宮川舞子

- 1996年に自身のダンスカンパニー「コンドルズ」を旗揚げし、全作品の構成・映像・振付を手がける。
- これまでに世界約30ヶ国で公演を行い、NYタイムズ紙で高く評価される。
- NHK教育『からだであそぼ』ほか、親しみやすい人柄とダンスで幅広い層の支持を集める。
- 野田秀樹作・演出による演劇作品や映画、テレビCMなど、多方面で表現者として活躍。
・ 障害者によるダンスチーム「ハンドルズ」公演など、多様なアプローチでダンスを通じた社会貢献にも取り組んでいる。
- 立教大学、東京大学などで非常勤講師を務めるほか、全国各地で公演やワークショップを行っている。

- （実績）※抜粋
- 2024年 東京芸術祭 コンドルズ・野外パフォーマンス『Let's Turn The Table』
 - 2019年 東京キャラバン（リーディングアーティスト）
 - 2013年 スポーツ祭東京2013
（国民体育大会、全国障害者スポーツ大会）
 - 2011年 「てっぱん」（NHK総合）オープニングダンス
 - 2008年 「みんなのうた」（NHK）
「べいびー ろっく ～BABY ROCK～」
 - 2007年 「サラリーマンNEO」（NHK総合）
「サラリーマン体操」
 - 2006年 コンドルズ日本縦断ツアー仙台特別版
「TOP OF THE WORLD 独眼竜スペシャル」
 - 2005年 「からだであそぼ」（NHK教育テレビ）
 - 2003年 コンドルズ・アジア・オーストラリア環太平洋ツアー
 - 2002年 アメリカツアー超限定東京凱旋公演
「YOUNG MAN」
 - 2000年 「Conquest of the Galaxy : Jupiter」
 - 1998年 「コンドルズ危機一髪 PART1～PART3」
 - 1996年 「太陽にくちづけ」

東京2025デフリンピック開閉会式準備運営体制 イメージ図

◆開閉会式検討部会◆



※部会の下に「演出委員会」を設置し、専門的な事項の検討を実施